

119番通報の“ギモン”

Q1 救急車を呼ぶときに、大事なことはなんですか。

A1 ズバリ、場所です。場所を聞かれたら、住所で答えるようにしてください。

Q2 救急車は、119番通報のどのタイミングで出動するのですか？

A2 救急車は、場所さえ確認できればすぐに出動しています。

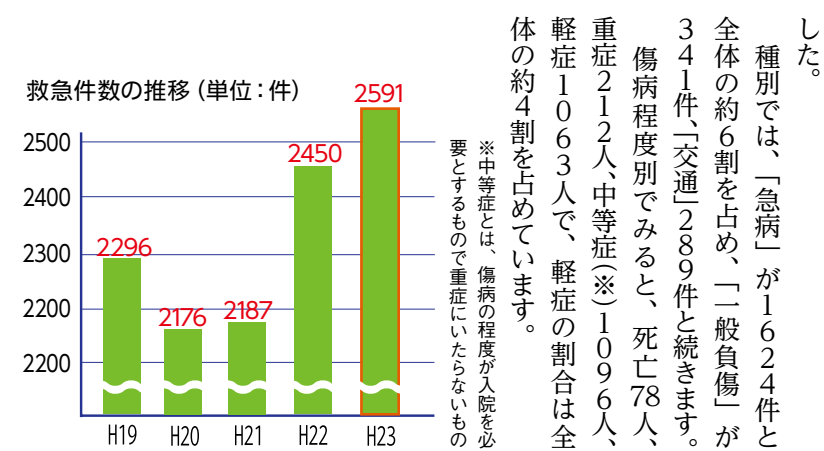
お願い

病気やケガの状況だけでなく、かかりつけの病院などの情報も教えてください。

分署(局番あり)に電話すると、出動に時間がかかります。救急要請は、局番なしの「119番」にお電話ください。

3時間半おきに救急車出動

昨年1年間の救急件数は、2591件で、過去最多だった平成22年よりも141件増加しました。1日の平均出動件数は7.1件。これは、3時間23分に1件のペースで出動していることになります。増加の原因として、冬の気温が例年よりも2度ほど低かったために、ヒートショックや、雪で滑ってこけるなどの症状で救急要請された方が多かったことが挙げられます。月別の出動件数も、1月が最も多く、265件ありま



緊急以外の通報は1423件

昨年1年間の119番受信件数は、3649件で、このうち、約4割の1423件がいたずら、間違い、不明、問い合わせなどの緊急性のないものとなっています。市民の皆さんが119番通報を正しく利用することで、災害や救急に素早く対応し、命を救うことができます。問い合わせなど緊急性がない場合は、「119番」ではなく、「62・0119番」へおかけください。

要請件数は前年比1.5倍

昨年1年間のドクターヘリの要請件数は89件。平成22年の約1.5倍となりました。このうち、実際に搬送されたのは63人でした。ドクターヘリの離着陸場は、小学校、公園、グラウンドなどを指定しています。緊急時には、使用を一時中断していただくことや、近隣の住民の方には騒音や砂ぼこりなどのご迷惑をかける場合があります。救命のため、ご協力をお願いします。

ドクターヘリ臨時離着陸場

- 離着陸の際は、使用を一時中断していただくこととなりますので、ご注意ください。
- 砂埃がたつ場合がありますので、ご注意ください。

京丹後市教育委員会
京丹後市消防本部 0772-62-0119

お問い合わせ先 市消防本部(☎62-0119) ホームページもご覧ください。
<http://www.city.kyotango.lg.jp/kcfd/>

【救急】
過去最多の2591件【通信】
4割がいたずら・間違いなど【ドクターヘリ】
要請89件63人を搬送

統計で見る京丹後の実態

平成23年中の市内の火災発生状況や救急救助活動など、消防・防災に関する各種の統計調査結果をお知らせします。



消防長 吉田 けんすく 件昨

「減災都市・きょうたんご」を

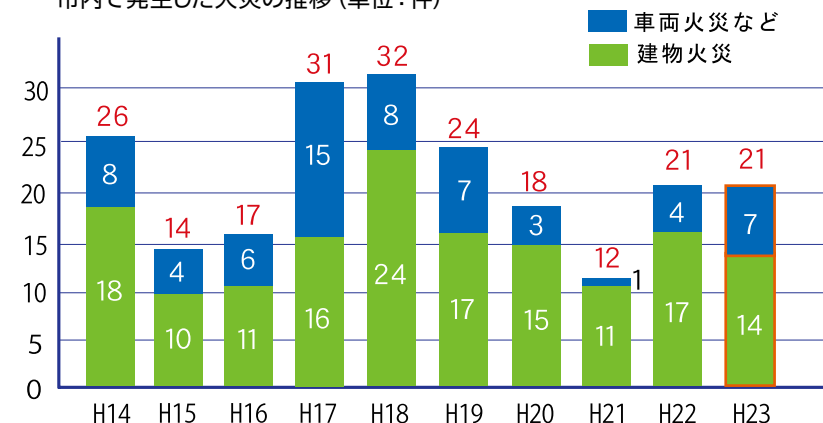
昨年は、災害に備えることの大切さを痛感した1年ではなかったでしょうか。東日本大震災では、緊急消防援助隊として、当消防本部からも隊員32人を派遣しました。地震、津波の圧倒的な力によって壊滅状態になった町での活動は、派遣された隊員の記憶に深く刻まれるとともに、災害に対し、消防として何をすべきかを改めて考える機会ともなりました。

過去の災害を教訓に、「減災都市・きょうたんご」を目指し、職員一丸となって取り組んでいきます。

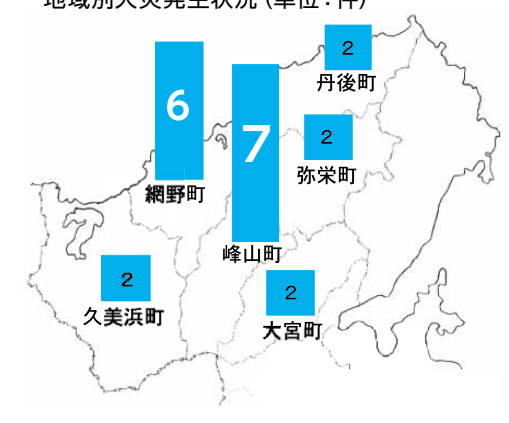
火災死傷者は10年で59人

平成23年中の火災件数は21件で、前年と同数。種別で見ると、建物火災は月に1件以上のペースで14件、林野火災が1件、車両火災が2件、その他火災が4件でした。火災による死傷者数は、死者が1人、負傷者が4人で前年より減少しているものの、この10年間で11人の死者と48人の負傷者が発生しています。火災を原因別にみると、「たき火」が5件、「電気機器」「配線器具」「マッチ・ライター」「放火」が各2件で、前年と同様に「たき火」が原因の火災が多く発生しています。

市内で発生した火災の推移(単位:件)



地域別火災発生状況(単位:件)



交通事故が全体の65%

昨年1年間の救助件数は、46件で、前年より1件の増加となりました。種別で見ると、「交通事故」が30件で全体の約65%を占め、「水難事故」が6件、「機械事故」が2件、「自然災害」が1件、「その他」が7件でした。夏の海水浴では、4件の死亡事故が発生しています。波が高いときや、お酒を飲んでいるときなどは、海に入らないようにしましょう。

海水浴で4件の死亡事故

【救助】
海水浴で4件の死亡事故

▲水難救助隊の訓練の様子

消防の広場

119

火事・救急・救助
平成23年6月から
すべての住宅に
住宅用火災警報器
の設置が義務化
されています

